

令和4年度 第1学年 国語科 書写 年間指導計画・観点別評価規準

月	単元 (教材や作品名)	指導内容・指導目標	観点別評価基準【 】は評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	[やってみよう] 漢字を分解してみよう	◎点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。[知技(3)エ(ア), (1)イ]	【知】点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。	【思】(点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。)	【態】進んで(1)穂先の向きや筆圧などを確かめ(3)、学習課題に沿って(2)点画を書こうとしている(4)。
5	漢字の筆使い	◎点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。[知技(3)エ(ア), (1)イ]	【知】点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。	【思】(毛筆で「天地」「春風」を書写するなかで、漢字の筆使いを確かめている。)	【態】進んで(1)漢字の筆使いに注意し(3)、学習課題に沿って(2)「天地」「春風」を書こうとしている(4)。
6	楷書に調和する 仮名(いろは歌)	◎楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる。[知技(3)ア, エ(ア)]	【知】楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。	【思】(小筆で「いろは歌」を書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。)	【態】積極的に(1)楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して(3)、学習課題に沿って(2)「いろは歌」を書こうとしている(4)。
	文字の大きさと 配列(俳句)	◎文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。[知技(3)ア, エ(ア), (1)イ]	【知】文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。	【思】(決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで、文字の大きさ、配列などを確かめている。)	【態】進んで(1)用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え(3)、学習課題に沿って(2)小筆で俳句を書こうとしている(4)。
7	[コラム]文字の歴史を探る	◎漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)]	【知】漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。	【思】(文字の大まかな歴史を確かめている。)	【態】積極的に(1)文字の歴史について知ろうとし(3)、学習課題に沿って(2)身近な使用例を調べようとしている(4)。
	[学校生活]目標 を書こう	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア), (1)イ] ○日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。[B(1)ア]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】(目標を書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。)	【態】進んで(1)習得した知識・技能を振り返り(3)、これまでの学習を生かして(2)目標を書こうとしている(4)。
9	[やってみよう] 速さを比べてみよう	◎漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ), (1)イ, A(2)イ]	【知】漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。	【思】(二つの速さで書き比べる活動のなかで、両者の形の違いを確かめている。)	【態】積極的に(1)速く書いたときの文字の特徴を捉え(3)、学習の見通しをもって(2)行書を学ぶ意義について話し合おうとしている(4)。
	行書の特徴	◎漢字の行書の特徴を理解することができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ, A(1)オ(2)イ]	【知】漢字の行書の特徴を理解している。	【思】(行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の特徴を確かめている。)	【態】積極的に(1)楷書と行書の違いを考え(3)、学習課題に沿って(2)行書の特徴を話し合おうとしている(4)。
10	丸み・点画の連続	◎漢字の行書の基礎的な書き方(丸み・点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ]	【知】漢字の行書の基礎的な書き方(丸み・点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。	【思】(毛筆で「一」「二」「口」を書くなかで、行書の特徴<丸み・点画の連続>を確かめている。)	【態】進んで(1)行書の書き方(丸み・点画の連続)を理解し(3)、学習課題に沿って(2)「一」「二」「口」を書こうとしている(4)。
11 12	点画の変化	◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ]	【知】漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。	【思】(毛筆で「大木」「北西」「月光」を書くなかで、行書の特徴<点画の変化>を確かめている。)	【態】進んで(1)行書の書き方(点画の変化)を理解し(3)、学習課題に沿って(2)「大木」「北西」「月光」を書こうとしている(4)。
1 2 3	[国語]季節のしおり1	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア, エ(ア)・(イ), (1)イ]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】(季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。)	【態】積極的に(1)習得した知識・技能を振り返り(3)、これまでの学習を生かして(2)季節の言葉をなぞろうとしている(4)。